

◇次週礼拝◇

説教 十字架を背負う

中沢 讓牧師

聖書 新約 ガラテヤ6:14-18

讃美歌 194 280 65-2 24

◇本日の集会◇

役員会研修会

◇今週の集会◇

旧約に親しむ会

5日(火) 午前10時

「アーモンドと煮えたぎる鍋」

エレミヤ書1:11-19

◇ようこそ教会へ◇

初めて教会に来られた方、学校の紹介で来られた方、歓迎します。

◇新型コロナウイルス予防対策◇

8月役員会で、コロナ感染の再拡大の状況について検討し、9月も、礼拝のプログラム短縮は継続します。

また、月初めの聖餐式は行います。

*来会されたら、まず入口で手指の消毒をお願いします。礼拝中も、マスク着用をお願いします。

*なるべく間隔をあけてお座りください。

*礼拝中は、会堂側面の窓を細く開け、天井の換気扇で換気します。

*発熱や咳など体調不良の方、ご家族に症状のある方は、来会を控え、ご自宅での礼拝をお願いします。

*子どもの教会は、短縮礼拝を継続しますが分級は行います。

◇報告とお願い◇

次主日は、「敬老の日合同礼拝」です。礼拝後に婦人会主催の茶話会があります。定例役員会もいたします。

週報、役員会報告、会計報告などの印刷物は、毎月第四主日に会員に発送します(9月は24日の郵送を予定)。また、主日礼拝の「説教プリント」を作成しています。週報のメール配信と共に説教も配信します(配信希望者はHP担当まで)。「説教プリント」は、希望者に郵送もできます(希望者は牧師まで)。YouTubeでの礼拝限定配信の希望者は、中沢讓牧師のメールアドレスにご連絡ください。

◇今週の誕生者◇

O.Tさん S.Sさん T.Tさん

◇集会状況◇

集会	日	出席
CC	子ども	27 1
	おとな	27 8
主日礼拝		27 48

◇牧師室より◇

「その夜中頃地震だ火事だという声がおこった。その内朝鮮人がびすとりをもつて一五人ばかりきたという事だった。その夜はだれもねず、火をどんどんもしてばんをしていた。とうとう朝鮮人はこなかった。そのあした朝鮮人が殺されているというので、私は行ちゃんと二人で見にいった。すると道のわきに二人ころされていた。こわいものみたさにそばによって見た。すると頭ははれて血みどろになってシャツは血でそまっていた。みんなは竹の棒で頭をつついて『にくらしいやつだ、こいつがゆうべあばれたやつだ。』とさもにくしくしげにつばきをかけていってし

まった。」「悲しき思いで」横浜市寿高等小学校一年女(在日大韓民国居留民団神奈川県本部編著『関東大震災横浜記録』1993)。

1923年9月1日に発生した関東大震災直後、「朝鮮人が襲ってくる」「放火や井戸に毒を投げ込んでいる」という流言蜚語が飛びかった。その日のうちに戒厳令が施行・発令され、軍隊が出動し、各地に自警団が組織され、東京都内だけでなく横浜でも、各地で虐殺が行われた。殺害されたのは、朝鮮人、中国人をはじめ、日本国内で方言を語る人たち、そして社会主義者たちだった。

このとき日本はすでに、韓国を併合(1910年)し、植民地化を進めていた。そのため三・一独立運動が起こり、日本軍は提岩里教会事件に見られるように、抵抗運動を弾圧した。日本の軍部の念頭には、朝鮮人が反乱を起こす可能性をいつも考えていたのだと思われる。そのため地震後の戒厳令の発令も軍隊の出動も早く、有事を想定していた弾圧であったことを思わせる。二度と繰り返してはならない事件だ。(中沢讓)